

## 社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2018. 1  
No.293

新年あけましておめでとーございます

昨年、社員の皆様とご家族の皆さまには大変お世話になりました。お陰さまで年度利益計画も達成できるようになってきました。これも社員の皆様の努力の賜物と感謝申し上げます。

さて、中部経済新聞によると、中部の主な自動車部品メーカー22社の直近の売上高営業利益率は、平均4.8%だということです。我イナテックもまず売上高営業利益率4.8%を目指そうではありませんか。我社の目標対実績の達成度も大切ですが、「井の中の蛙(かわず)※1」や「ゆでガエル※2」状態にならないよう、世間の現状を知っておかなければなりません。

※1・・・狭い世界に閉じこもって、広い世界のあることを知らない。狭い知識にとらわれて大局的な判断のできないたとえ。

※2・・・カエルは熱湯に入れると驚いて飛び出すが、冷水から徐々に温度を上げていくと変化に気づかず、やがてゆであがつて死んでしまう。急激な変化には懸命に対処しようとするが、事態がゆつくりと推移するときには、対応が遅れがちになり、気づいたときには深刻な危機に陥るという理論。

### 年頭式の挨拶より

2018年のテーマは、「選択と集中、そして“こだわり”」です。

昨年、私はこの場で2017年のテーマは「選択と集中」と申し上げました。これは、「不良ゼロ」「故障ゼロ」に向けてということでした。

私たちのお客様であるアイシンAW様は、今年度、当初の計画を大幅に上回る生産台数を達成されました。我イナテックも、お陰様で、沢山仕事をいただき感謝しなければならぬと思っております。

これからも、お客様から信頼され、仕事がいただけるように「不良ゼロ」「故障ゼロ」に「こだわり」という意味を込めて、今年度は「選択と集中、そして“こだわり”」としました。

トリアの昨年は、高い生産台数を乗り越えるために、トリアのように羽ばたき、皆で頑張っていました。

イヌ年の今年度は、更に高い生産台数を乗り越えるために、足元をしっかりと見据え、生産計画を緻密に立て、質・量・コストを作り込む一年としたいと思っております。

そして勿論忘れてはならない事は、足元の安全第一・品質最優先です。我々職制が現場で率先垂範すべき最重要項目です。

鼻が利く犬のように、職場の様々なことを嗅ぎ分けて、現場の皆さんの声を仕事に反映させて成長していきましょう。

2018年のテーマは、「選択と集中、そして“こだわり”」です。安全は勿論、品質不良ゼロと故障ゼロにこだわる2018年にしようではありませんか。

このテーマに向かって一年がんばりましょう。

## 「何事も心を込める」

平井正修著「山岡鉄舟修養訓」より、イナテックの企業理念に通じる所があるので、まとめて紹介させていただきます。

人間は小さい仕事とか大きい仕事という見方をしがちだ。しかし、本来、仕事に大小はない。大小というのは我々が勝手に決めつけているだけの話だ。

どんな仕事であれ大切なのは、体と心一つにして取り組むことだ。やるべきことをやればいいのだ。少なからず目の前に避けて通れない道があるならば、逃げずに「えいやー」でやるしかないのだ。

座禅では、左右の足を組む正式な坐り方と「半跏」という片足だけを組む坐り方がある。半跏は足が痛くなったらずらして痛みを和らげることができるが、そのうちまた痛くなる。座禅を続けていけば慣れると思うだろうが、痛いの嫌だからと半跏にして逃げていると、いつまで経っても痛いままだ。

本当にやらなければいけないことは、どんなに苦しくても、正面から堂々と心を尽くしてや

っていく。それが一番大切だと思います。逃げながら仕事をしていたら、何年経ってもモノにはなりません。これは修行や仕事だけではなく、すべてのことに言えるのではないのでしょうか。

### 怒りは怒りを、笑いは笑いを引き出す

中部経済新聞に興味深い話がありました。「笑う門には福来たる」新年ですので、「笑い」についての話題を紹介します。

怒りは、喜怒哀楽の中で最も原始的な感情表出で、相手よりも優位に立つための威嚇を目的とする。怒りを示された相手は、そのまま服従しては、大きな不利益を被るため自然と抵抗する。怒りが相手の怒りを引き出す。

## 五五

花居盆内、終乏生機、鳥入籠中、便滅天趣。不若、山間花鳥、錯集成文、翱翔自若、自是悠然會心。

花も植木鉢に植えると、だんだんに生氣がなくなってしまう、小鳥も鳥かごで飼うと、次第に天然のよさがなくなっていく。それよりもやはり、(天然のままに)、山間の花や小鳥が、混ざり集まって色どりを添え、思いのままに飛びまわって、それぞれのびのびとして、いかにも楽しんであるのには及ばない。

一方、笑いは喜楽を表す、より進化した感情表出で、真の意味で笑うのは人間だけである。

それは高度な社会性を維持していくために必要だからだ。相手が笑っていると自分も楽しくなる。つまり、笑いは相手の笑いを引き出す。

笑いは、自分の怒りを沈め、相手の怒りを和らげる。人間関係を良好に保ち、ストレスを低減するために笑いは欠かせない。怒っても怒り損、笑った方が得。無用な争いを避けるためにも、怒らずに笑う。

笑う、笑う、笑う。

笑顔の絶えないイヌ年、笑顔の絶えないイナテックにしましょう。

2018年、今年もよろしくお願いいたします。感謝。